



にぎわい振興について

創志会 中込 淳之介

問 にぎわい振興の中のインバウンド対策について伺います。

日本政府観光局が発表した2018年のインバウンド客数の年間推計は、前年比8・7%増となる約3119万2千人。これは、統計を取り始めた1964年以降最高値となり、インバウンド消費も過去最高を記録しました。訪日外国人消費動向調査によると、2018年の訪日外国人旅行消費額は、4兆5064億円と過去最高という結果となりました。

政府は、成長戦略の柱の一つとして、東京オリンピック・パラリンピックの効果で訪日する人が増える見込まれる2020年に、訪日外国人観光客数4千万人、旅行消費額8兆円を目標に掲げています。

訪日外国人の消費用途は、①買物代②宿泊費③飲食費④交通費⑤娯楽等サービス費の順となっており、日本国内での消費は巨額であり、各自治体でも訪日外国人に足を運んでもらい、地域経済の活性化につなげようとさまざまな取り組みを行っています。

9月にはラグビーワールドカップの開催が予定されており、本市はロシアの公認チームキャンプ地になっています。そして、来年はオリンピック・パラリンピックが開催され、聖火リレーが通過する海老名市は世界からも注目を集めています。

近隣市でも有名な観光地があるので、本市を通過するだけでなく、海老名市にどのようにして来てもらうか、回遊していただくか、今後に向けて対策を講じて行かなければならないと考えます。

そこで、インバウンド対策をどのように考えているのかご所見を伺います。

答 (経済環境部次長) ラグビーワールドカップ2019および東京2020オリンピック・パラリンピック競技大

会を迎え、神奈川県内でもインバウンド需要が見込まれています。こうしたことから、インバウンド客も含めた来街者の増加を想定し、大会啓発イベントや都市部のイベントスペースも活用しながら、海老名市の名店・名産品に認定した店舗や産品のPRを行い、にぎわい創出を図っていきたいと考えています。

また、ラグビーワールドカップでは、ロシアチームが当市を訪れる機会をチャンスと捉えて、関係者などにも海老名産品のPRができるよう調整を行っていきたいと考えています。



名店・名産品ガイドブック



良好な街並みの形成について

太平会 氏家 康太

問 住みたい、住み続けたいまちを考えた時、重要な要素になると思われる良好な街並みの形成について伺います。

まず、①幹線道路や住宅街の電線地中化についてです。扇町の住宅街には電柱がありません。市はできるところから進めています。市内には、大規模開発された住宅街が何力所かあります。そういった既存の住宅街や、街路樹が植えられている既存の幹線道路の電線地中化を優先して行えないものか、市の見解をお伺いいたします。

次に、②ブロック塀についてです。現在防災上の観点から撤去費補助事業を通じて改善を図っています。景観上、塀やフェンスがないほうがスッキリして良いように思われます。ブロック塀とガードレールに挟まれた狭い歩道を歩く時は冷や冷やします。これが通学路だと、一刻も早く改善できないかと思うのですが、現状などを教えてください。

最後に、③街路樹についてです。痛々しくコブができた幹から一生懸命に葉をつける街路樹の姿に、心を痛めております。街路樹の大きさは都市緑化のまちの歴史を表し、大きくすがすがしく茂る街路樹は、まちの資産価値も上げると思いますが、市の見解を伺います。

答 (市長) ①電線地中化は、いろいろな所でやりたいのですが、莫大な費用がかかるのが問題です。東京で今、オリンピック・パラリンピックに向け電線地中化を推進しており、工法もいろいろあると思います。その費用対効果を検証しながら、どういったものが本市に合っているか検討していきたいと思っています。

②ブロック塀は、街並みの関係もありますが、大阪北部地震の際の死亡事故を受けて補助制度を始めました。徐々に申請が少なくなっているのが現状です。

③本市の街路樹の歴史は浅く、水田への影響や沿線への落ち葉の影響などを考えて進めてきました。市制50周年が近づいており、今後、100周年に向けてどんな街路樹を植えるか、一定の固執をする必要もあると思います。

答 (まちづくり部長) ①電線地中化費用の約3分の1は、電力および通信事業者が負担することになります。これを踏まえて事業者が参画するなど、さまざまな課題があり、優先順位を含めた十分な検討が必要ですが、まちの良好な景観形成にとって有益な事業と認識しています。

②ブロック塀撤去費の補助制度を広報していますが、通学路沿いには案内をポスティングしています。平成30年度の申請は14件あり、撤去された延長は227メートルでした。

③街路樹は落ち葉対策や電線への影響、成長した枝葉が通行を妨げないことを優先して維持管理しています。街路樹のあり方や維持管理について、樹木の状態や地域の方のご意見を踏まえて研究していきたいと考えています。



電柱がない扇町のエビロード